

法人化をきっかけに野菜や花きに取り組み、女性が活躍 ～農事組合法人 西出稔り会～

経営体の概要

現在：平成29年
基幹作物：水稻、麦、大豆、かぶ、こまつな、小菊、ストック
経営面積：45ha(うち水田39ha、畑6ha)

取組の経緯と経営転換のポイント等

農業用機械への過剰投資、後継者不足等が課題となるなか、集落営農組織を設立するための委員会を立ち上げ、先進地視察を行いながら、組織の機構等を検討し、平成6年度に西出農業組合営農部会を、さらに、平成27年度に農事組合法人西出稔り会を設立した。こうしたことを経て国営かんがい排水事業による用水安定供給、ほ場整備事業による汎用化ほ場を活用した法人経営による集落営農が可能となり、集落全体の約8割の農地で参加するに至った。法人化をきっかけに、本法人の特産部（レッド・フロンティア）で女性グループが中心となってかぶら、小菊などに取り組んでいる。

営農改善のポイント

①作物の変化

法人化後にかぶ、小菊等の園芸作物の栽培を新たにはじめた。かぶは漬物に適した万木(ゆるぎ)かぶらを栽培し、漬物を販売する企業に出荷するほか、収穫後すぐに干し竿で天日乾燥を行い、漬物に加工して直売所等で販売している。かぶの生産、漬物への加工では女性が中心となって活動し、女性グループの愛称はレッド・フロンティアとしている。レッド・フロンティアでは独自に信条、行動方針等を定め、農外の仕事の休日時に農作業を通して交流するなどして、「人が集まる場づくり」、後継者の育成を目指している。



かぶの天日乾燥



レッドフロンティアによるかぶの漬物加工作業

②省力化とコスト低減

平成6年度の西出農業組合営農部会設立後、順次、大型農業用機械を導入し、水稻、麦、大豆による集落営農を進め、作業の共同化、効率化を図ってきた。集落営農のための農業用機械・施設の購入に当たっては、個人が所有していたトラクター、乾燥機等を本法人が買い取ったり、使われていない牛舎を賃借して倉庫に改修して使用するなど経費節減を図っている。また、労働力削減のため、カルパーコーティング種子を用いた直播に取り組んでいる。



直播作業

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：滋賀県近江八幡市、東近江市、
愛知郡愛荘町、犬上郡豊郷町
受益面受：6,877 ha
事業期間：平成26年～34年
事業目的：用水改良
主要工事：ダム湖内掘削1ヶ所、用水路11km、
地下揚水機22ヶ所、調整池6ヶ所等



湖東平野地区

<問い合わせ先>

近畿農政局 農村振興部
農地整備課 営農担当
電話：075-414-9541
(内線2565)

(平成29年度調査時点)